

企画展「青の造形」開催のお知らせ

市立海の博物館 ☎ 326006

企画展「青の造形 - 中央構造線上の漁村空間 -」

会期 9月4日(土)～11月23日(火・祝)

ところ 市立海の博物館 特別展示室

入場料 市立海の博物館 入館料

主催 文脈のカタチ研究会

共催 鳥羽市立海の博物館

協力 市教育委員会、三重大学海女研究センター

本展は鳥羽市の4つの離島、和歌山県和歌山市和歌浦湾域、愛媛県伊方町の3か所の漁村に着目し、建築学の観点から、その空間的な構造を解き明かす企画展です。これらの地域は中央構造線上に位置し、青石(緑色片岩)が多く露出することから、青石の多様な使用方法により漁村空間が形成されているのが特徴です。青石の創り出す街並みや路地、石垣、民家について、図面・写真・スケッチ・地形模型(1/1000)などを用いて展示しながら、各地の漁村の類似点や相違点、特性を紹介します。本展をご覧になり、新型コロナウイルス感染症の流行がおさまってからでもぜひ集落を歩いてみてください。きっとこれまでとは漁村の見え方が変わり、新たな魅力や価値を知ることができるでしょう。付属イベントとして、さまざまな切り口から漁村のいまとこれからを議論する講演会やシンポジウムも計画しています。みなさんぜひ誘い合わせて参加してください。



付属イベント

1. 座談会

「ボクらの漁村ミライ図 #若手の若手# 10年後#漁村」

漁村をフィールドに活動・卒論・修論に取り組んだ20代の社会人および院生たちが、2031年の漁村に向けた提言をする座談会です。

とき 9月18日(土) 午後1時～3時

定員 50人(要申込・先着順)

ところ 映像ホール


2. ギャラリートーク「青の漁村空間」

展示内容や漁村の空間的特徴がよくわかるギャラリートークです。

とき 9月19日(日) 午後2時～3時45分

定員 20人(要申込・先着順)

ところ 特別展示室


3. 講演会「建築と漁村空間 - 建築家の翻訳力 -」

漁村で作品を手がけた建築家が、漁村の地域性をどのように活かし、設計に反映させたのか講演討論します。貝島桃代氏(アトリエ・ワン、筑波大学准教授)・前田茂樹氏(GGDL、神戸芸術工科大学客員教授)ほか講演予定。

とき 10月30日(土) 午後1時～4時30分

定員 50人(要申込・先着順)

ところ 映像ホール


4. 講演会「鳥羽の離島：漁村空間の価値」

鳥羽の離島にフォーカスし、建築学からみた漁村の魅力を伝える講演と、まちづくりをテーマにした討論会。

とき 11月14日(日) 午後1時～3時30分

定員 50人(要申込・先着順)

ところ 映像ホール


5. 事例紹介

「漁村の魅力 - 見つけ方/活かし方/残し方 -」

漁村をフィールドに調査をする研究者による講演会。中村市長による基調講演も予定。全国各地の漁村の取り組みや活動紹介を通して、鳥羽漁村の未来、魅力、可能性に迫ります。

とき 11月21日(日) 午後1時～5時

定員 50人(要申込・先着順)

ところ 映像ホール


※展示および付属イベントの内容は、新型コロナウイルス感染症流行の状況などにより変更となる場合があります。

海の博物館入館料 大人(18歳以上)：800円、大学生以下：400円

付属イベントの参加申込方法

電話(☎326006)もしくは、所定の用紙に記入してファクス(FAX)325581)で申し込んでいただくか、上記各イベント情報に付したQRコードを読み込んで、WEB上から申し込んでください。またZoomによる聴講も可能です(要参加申込)。

来館してのイベント参加には海の博物館の入館料が必要です(ZOOM参加は無料)。ただし、複数のイベントに参加するかたは、2回目以降が無料となります。